

教育課程

明日香村立明日香幼稚園

1 明日香村教育委員会の目指す方向

明日香村教育委員会は、教育基本法をふまえ、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」を基盤に「自立して社会を生き抜く力」をもった子どもたちを育てることを目標として学校教育を推進している。

この「自立して社会を生き抜く力」は、さまざまな環境の変化に対応できるよう「郷土に誇りを持ち、自らの生き方を切り開くたくましい子どもの育成」、「夢に向かって力強く生きていく意欲ある人づくり」と捉え、子どもたちを育てる教育の基本理念とされている。

目指す子ども像

- ◎郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、郷土を語れる子ども
- ◎夢に向かって、自らの生き方を切り開く意欲あるたくましい子ども

基本理念

- ◎郷土に誇りを持ち、自らの生き方を切り開くたくましい子どもの育成
- ◎夢に向かって力強く生きていく意欲ある人づくり

2 幼小中一貫教育の教育区分と本園の役割

本園はこの理念の下、村教育委員会が示す「明日香村幼小中一貫教育構想」の学校教育のプレ期に当る3年間を担当する。

一貫教育と本園教育

教育区分と本園の教育

一貫教育の区分

プレ期	前期	中期	後期
明日香幼稚園	明日香小学校	聖徳中学校	

学校教育区分

プレ期の学びを素地に、小学校への接続がスムーズに進められるよう、明日香小学校、聖徳中学校との連携を密に進める。

3 明日香幼稚園の幼稚園教育目標と目指す子ども像

本園は幼小中一貫教育12年間のプレ期の3年間を担う。そこで、本園の教育目標と目指す子ども像を次のように設定する。

- 園の教育目標と明日香村学校教育の指導方針を常に意識し、全職員が共通理解をもちながら創意工夫を生かして教育活動を進め、豊かな心と健やかな体を育てる。
- 様々な活動や豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」。気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」。心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」の資質、能力を育むようにする。
- 幼児期の発達の特性を踏まえ、基本的生活習慣（あいさつ、衣服の着脱、食事の仕方、排

泄等)を身に付けるとともに、規範意識・人権感覚・コミュニケーション能力を高める。

- 12年間を見通した一貫教育に向けての取り組みや幼小中の連携の検証を行い、語彙力を高め、基礎的な言語力の育成をするとともに、主体的・対話的な深い学びに向けての取り組みを行う。
- 家庭との連携を密にし、子育ての大切さや楽しさを共有しながら家庭の教育力の向上を図る。

<幼稚園教育目標>

◎豊かな感性を育み、心身共にたくましく、主体的に生活する幼児を育成する。

- 元気に遊ぶ子ども
- 心豊かな子ども
- よく考えて最後まで頑張る子ども

<めざす子ども像>

- 思いやりのある優しい子
- 明るく前向きな子
- いつも元気で健康な子
- 自主性のある子
- 責任感のある子

★ 生き生きと目が輝き、元気いっぱい遊ぶ子どもを育てる。

4 本園の教育活動

(1) 主体的に遊び、生活する(生きる)力や学ぶ力を育む。

- ・集中して遊べる環境や試行錯誤ができる環境を構成し、自発的に遊ぶ中で思考力・判断力の芽生えを培う。
- ・一人一人の子どもを理解し、その子らしさを大切にする。
- ・幼児の興味・関心を捉え、考えたり工夫したりして、主体的に遊びに取り組めるようにするとともに、話を聞く習慣や表現する喜びを育てる。
- ・家庭と連携しながら基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、一人一人に応じた援助をする。
- ・生活や遊びを通して、ルールやきまりを守る大切さに気づかせる。
- ・健やかなたくましい心と体を育てるために、様々な活動に親しみ、粘り強く取り組みながら体を動かす心地よさを味わわせる。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫する。

(2) 園や明日香村の自然を生かした活動の展開をする。

- ・自然の営みや季節の移り変わりを感じる機会を大切にする。
- ・身近な自然や明日香の社寺仏閣・文化等に触れて、思う存分遊ぶ経験の中で、感じたことを表現する力を育てる。
- ・明日香の自然の中で思い切り遊んで、楽しさを実感できるようにする。

(3) 人とかかわる力を育む。

- ・遊びの中で異年齢児や友達とかかわりを深め、愛情や信頼感を深めるようにする。
- ・地域の人や高齢者と触れ合う機会を取り入れ、思いやる気持ちや態度を養う。
- ・地域住民参加の開かれた園経営を行い、子どもたちの豊かな学びを創造する機会を拡げる。(地域コミュニティの推進)

(4) 豊かな感性を育み、表現力を身につける。

- ・心を動かす体験や活動を通して、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- ・感じたこと、考えたことなどを様々な方法で表現する。
- ・生活の中で、美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- ・絵本や物語などで、その内容と経験を結び付けたり想像力を巡らせたりするなど、楽しみを十分に味わうことによって、次第に豊かなイメージをもち、言葉に感覚が養われるようにする。

(5) 一貫教育における「つけたい力」の育成。

- ・確かな学力を育むために、主体的な遊びや生活を通して思考力や学習規律を身に付ける。
- ・豊かな人間性を育む様々な体験を通して、コミュニケーション能力を身に付ける。
- ・元気いっぱいの挨拶を推進し、様々な挨拶を身につける。